

パブロフの犬

—条件反射の心理学？—



東郷 潤

さあ、みなさん。
今日は、条件反射の
お勉強をしましょうね！

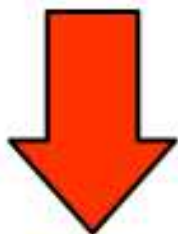


パブロフ博士

さあ、みなさん。
今日は、条件反射の
お勉強をしましょうね！



ベルを鳴らして

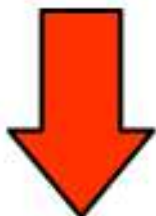


えさを与えます。

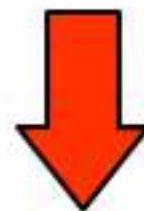
悪いと決めて



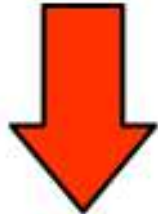
攻撃します。



えさを与えます。



攻撃します。



えさを与えます。



攻撃します。

これを、何十回も
繰り返します。

そうすると・・・

これを何十回…、
ではなく、子供の
時から何十年も、
繰り返します。

そうすると・・・



悪い子!



悪人め!



悪人め!



これだけで…

ビーッ!



これだけで…

悪!



・・・犬の口に唾
が出ます。

ごちそうを
食べなきゃ！



・・・地球人の目
が釣り上げられます。

攻撃しな
きゃ！



これが条件反射です。



**この習性を
利用して、**

**犬の行動を
コントロール
できます。**

これが条件反射です。



この習性を

利用して、

**地球人の
行動を**

コントロールできます

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたら、他の方にもご紹介いただければと思います。

本絵本は、商業出版を除いて自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメ

メッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2006

ⁱ 〔注〕 お尻を叩く行為を「攻撃」と表現していますが、罰（体罰）の善悪を主張する意図は一切ありません。